

講義名	地域再生論	授業形態	
担当教員	岸野 啓一	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 3 時限
		単位数 2	履修開始年次 3 年生 ナンバリング・コード RED384

主題と概要

全国的に都市高度化と人口増が進行する中、とりわけその影響が強く現れる地方部では地域の産業、経済をはじめ、日常生活やまちづくり、医療・福祉など様々な分野で深刻な問題が生じており、それに対応する自立的な地域経済と人口の増えを図ることが喫緊の課題となっている。

この科目では、地方部をテーマとし、おもに都市・地域計画の観点から地域再生が必要となった背景や経緯を説明するとともに、いくつかのテーマに基づき、地域再生に関する問題点とその対応策などについて、具体例を示しながら論じる。

地域再生はこれからの地方行政の主要課題であり公務員を目指す学生には履修を勧める。また、日常生活にも密接に関わる問題であり、公務員以外を目指す学生に対しても、仕事や日常生活において役立つ知識と技能はこれからの地方行政の主要課題であり公務員を目指す学生には履修を勧める。また、日常生活にも密接に関わる問題であり、公務員以外を目指す学生に対しても、仕事や日常生活において役立つ知識と技能はこれからの地方行政の主要課題であり公務員を目指す学生には履修を勧める。

到達目標

- (1) 地域再生が必要となった背景や地域再生の取り組みに関する最新の諸事例の解説を通じ、地域再生とは何かが理解できるようになる。
- (2) その上で、地域再生の問題の捉え方やその基礎知識を学ぶ意義を理解し、その基本的な知識を習得できるようになる。
- (3) これらの成果に基づき、地域課題の構造を簡潔に表現できるようになる。
- (4) 地域再生の時事問題に対して自分の意見を述べることができるようになる。

提出課題

授業の内容に関する理解を深めるため、授業の内容に関するレポートを課す。
レポートの提出方法などについては、その都度指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

基本的に、次回の授業の際にレポートの講評や解説を行う。

評価の基準

前半・後半の2回に分けて、授業時間内に試験を実施する。
試験の成績を70点、平常点（出席回数に基づく評価、レポート課題の出来映え）を30点、合計100点満点で評価する。
出席については、毎回、キャンパスクロス等によって確認する。

履修にあたっての注意・助言他

1. 積み上げ型の授業であり、毎回出席することが重要である。
2. 試験では、各回の授業の内容から出題される。こうしたことから毎回出席することが重要である。
3. 授業内容は日常生活に関連するものが多く、レポート課題などに取組みながらその内容をきちんと理解してもらいたい。そのために、授業への出席と積極的な参画とレポート作成などを通じた復習を強く勧める。
4. 公務員を志望する学生には、履修することを推奨する。

教科書

.使用しない.

参考図書

その他

授業はパワーポイントを用いて行うが、プリント（パワーポイント資料、その他参考資料など）を配付する。
参考文献は、授業の中で紹介する。

授業計画

2. ガイジンズ、地域再生とは
3. 地域再生の社会的背景 (1) 自動車利用の進展と生活の変化
4. 地域再生の社会的背景 (2) 都市への機能的集中と過疎化の進展
5. 高齢者の生活と定年退職後の再生活
6. 高齢者が支える高齢者の住まい・まちづくり
7. 過疎地域における小さなコミュニティの形成
8. 前半部の内容のまとめと確認テスト
9. 中心市街地の活性化
10. オールドタウンの再生
11. 観光地帯による地域再生
12. 先住民自治体 (1) 兵庫県養父市、国家戦略特区
13. 先住民自治体 (2) 宮城県、自治体と創生総合戦略
14. 先住民自治体 (3) 岩手県、高度医療都市
15. 後半部の内容のまとめと確認テスト

＜各回の予習・復習について＞

- [illegible]

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○	ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（A L 型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この授業は、本学のディプロマ・ポリシーと次の点に関連する。

- 「流通科学大学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力」のうち、
 - 「ネアカのひのひへ」たちの精神をもった人材
 - 知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材
 - 創造力 新しい視点と豊かな発想を持った人材
- 「経済学部 経済学科の学生が卒業時に身につけておくべき資質・能力」のうち、
 - 世の中の動向を理解して、経済問題を中心に現代社会の問題意識に解決策を提案することができる。
 - 経済学を基盤にして、複権化する地域社会で起る問題を読み解き、解決策を提案することができる。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

実務経験あり。
国や地方自治体との業務において授業に関連する内容にかかわった経験がある。実務を通じて得た知見などを授業で伝えることにより、授業内容に対する理解を深めたい。

備考